

■目標

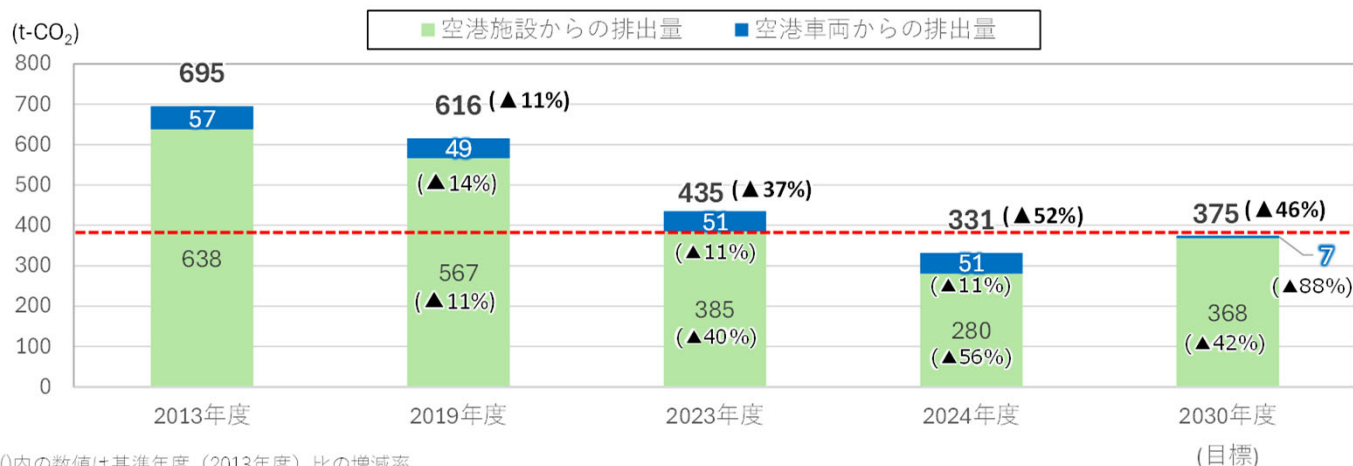
2030年度 CO₂排出量 2013年度比 46%削減

2050年度 カーボンニュートラル

■取組状況

- 空港の施設**：航空灯火LED化により、CO₂排出量は推定6t-CO₂/年削減。(2013年度比0.8%相当)
 空調・熱源機器の省エネ化により、CO₂排出量は推定9t-CO₂/年削減。(2013年度比1.2%相当)
 環境価値の購入により、CO₂排出量は推定205t-CO₂/年削減。(2013年度比29%相当)
- 空港車両**：空港車両はHV車両2台導入により、CO₂排出量は推定0.2t-CO₂/年削減。(2013年度比0.02%相当)

区分	CO ₂ 排出量【t-CO ₂ /年】				
	2013年度	2019年度	2023年度	2024年度	2030年度 (目標)
空港の施設からの排出量	638	567	385	280	368
空港車両からの排出量	57	49	51	51	7
計	695	616	435	331	375



2030年度目標値

※()内の数値は基準年度(2013年度)比の増減率

※三沢空港脱炭素化推進協議会構成員からの報告を元に作成

■CO₂排出量の減少理由

- 空港全体からのCO₂排出量は大きく減少した。空港ターミナルビルでの環境価値の購入が大きく影響したと考えられる。
- 空港車両からのCO₂排出量は横這で推移している。